

今月のテーマ

ながさきプチ旅行



市長の
心と手

～自らの思いを皆さんに語るコラム～

今年、コロナ禍のために自宅ですす時間が増えた、という方が多いのではないかと思います。旅行も春以降は遠くに行くことが難しくなりました。そんな中で増えたのが「近場の旅」です。

長崎市では県民を対象にした「お得に泊まって長崎市観光キャンペーン」を、第二弾（6月中旬～9月）、第三弾（10月～来年1月）と連続して実施しています。かなりお得で、大好評です。G.O.T.トラベルとも併用できます。この機会を利用して、県民、市民の皆さんに長崎市の魅力を再発見していただきながら、長崎の観光を応援していただけたらと思います。

このコラムのすぐ下をご覧ください。「ながさきプチ旅行」という連載コーナーがあると思います。このコーナーは、市民の皆さんにわがまちをもっと楽しんでほしい、という思いから生まれました。もちろん新型コロナウイルスが発生するずっと前のことです。

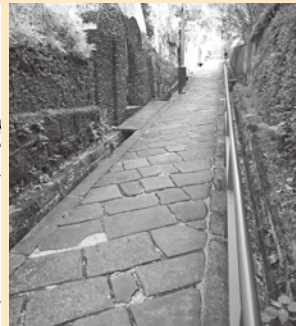
長崎には元々魅力的な場所が多い上に、周辺7町と合併したことでさらに魅力が増えました。そこであらためて、知っているようで知らない地元の魅力を紹介しようというわけです。

たとえば最近、魅力アップした場所といえば、眼鏡橋もその一つ。「なんだ、知ってるよ」と思いかもしれませんが、実は最近、眼鏡橋のライトアップが変わりました。世界的な照明デザイナーの面出薫さんに手伝わっていたので、とても素敵なライトアップになりました。観光客の皆さんだけでなく、散歩される近所の皆さんにも好評です。そのほか、平和公園、大浦天主堂、寺町界隈、丸山、新地などが素敵にライトアップされています。

ライトアップだけではありません。この数年の間に、素敵さがアップした場所といえば、鍋冠山の展望台、出島表門橋、稲佐山のスロープカー、遠藤周作文学館にある思索空間「アンシヤナ」などいくつもあります。まちづくりの環として、時間をかけて「よい風景」をつくることに力を入れてきたからです。これからできる長崎駅前の広場や市民会館前の公園なども、きつと素敵な場所になるでしょう。

以前行ったことがある場所も、久しぶりに行くこと変わっていたりするので、ぜひ近場を訪ねる「ながさきプチ旅行」を、あなたも楽しんでみてください。

「長崎の中でお気に入りの場所はどこですか？」と聞かれたら、どこを選びますか。お気に入りの場所は観光スポットである必要はありません。近くのお寺。行きつけのお店。学校の校庭。夕日の見える海岸。山の頂上からの眺め。川沿いの公園。いえいえ、場所だけではありません。お祭りやペーロンなどの伝統行事。近所の人たちとのつながり。地元でとれる野菜や魚。身近なところにお気に入りの場所があるかもしれません。



ながさき
プチ旅行

出かけて見る・知るまちのオススメスポット

長崎風情がこにも
南山手の
新景観スポット

小曾根バス停を降りて、坂道を上りながらグラバー園方面へ。いかにも長崎らしい道中を、息を切らせながら旧オルト住宅方面へ進むと、休憩スポットにたどり着きます。

ここは、長崎港を望む新たな景観スポットとして、今年整備されました。

ゆつくりくつろげるベンチから、稲佐山などとは趣が異なる景観が望め、長崎港や港を眼下に動き続けるクレーン、南山手の洋風住宅は、撮影スポットとして写真愛好家にもおススメです。

近くには、雨が降った時の溝を流れる音から通称「ドンドン坂」と呼ばれる坂道もあるのですが、一緒に長崎風情を楽しむのもいいかもしれませんね。